

未来のために

今からできるSDGs

エス・ディ・ジーズ

ID 1022550



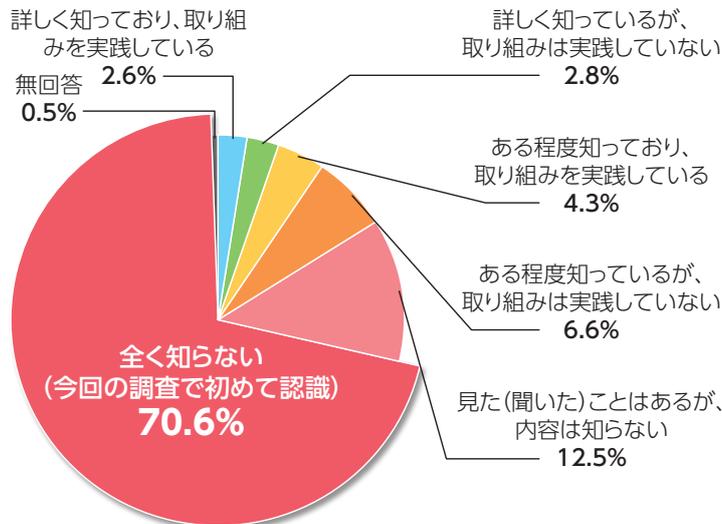
令和2年度の世論調査では、市民の約7割の人が「全く知らない」と回答するなど、まだまだ浸透していない「SDGs」。

しかし、私たちが暮らす地域や社会を未来に持続するため、また、誰一人取り残すことのない社会を実現するために大切なことです。皆さんも未来のために、今からできることを考えてみませんか。

☎環境政策課 ☎(632) 2409

＼宇都宮市の皆さんに聞きました／

あなたはSDGsについて 知っていますか？



▲出典 第53回市政に関する世論調査(令和2年度)

＼ヒトコトで言うと／

SDGs とは 地球全体で取り組む

17の国際目標です

持続可能な社会にするために、下の17個の国際目標と169のターゲットが定められ、2030年までに解決を目指す取り組みを示しています。17個の目標について、詳しくは、市ホームページをご覧ください。 ID 1022550



環境と社会と経済、全部が
つながっているんだね。

うん。みんなが暮らす社会は、地球環境という土台がなければ、成り立たないからね(5ページ右上の図)。環境や社会、経済の視点で、さまざまな問題を解決していくことが、大切なんだ。



だから、いろいろな目標が
決められているんだね。

うん。みんなが暮らす社会は、地球環境という土台がなければ、成り立たないからね(5ページ右上の図)。環境や社会、経済の視点で、さまざまな問題を解決していくことが、大切なんだ。

地球には、ごみの大量発生や貧困など、多くの問題があるよね。また、このままだと地球温暖化の影響で干ばつや洪水などが増えてしまつよ。そうすると、みんなの生活や食べ物生産にも影響して、大変なことになってしまうんだ。



でも、SDGsって、なん
で必要なの？

地球には、ごみの大量発生や貧困など、多くの問題があるよね。また、このままだと地球温暖化の影響で干ばつや洪水などが増えてしまつよ。そうすると、みんなの生活や食べ物生産にも影響して、大変なことになってしまうんだ。

ミヤリー ハッピー



SDGsって覚えている？
うん。確か17個のゴールを
目指しているんだよね。



そう。2015年に国連
サミットで採択された、国
際社会共通の「持続可能な開発目
標」。それがSDGsだよ。

Step 2

持続可能な社会づくりを 私たちの行動に例えて考えてみよう

取れるだけ
取っちゃえ



先に給食を取る人
(今を生活している人)

食べる分がない……



後に給食を取る人
(未来を生きる人)

持続可能な
社会にするためには……

次の人のことを考えて取れば、
みんなで分けて食べられるね♪



先に給食を取る人
(今を生活している人)



後に給食を取る人
(未来を生きる人)

POINT

今だけではなく、次の人のことや未来のことを考えて行動することが、誰も取り残さない持続可能な社会につながります。

ステップ
Step 1

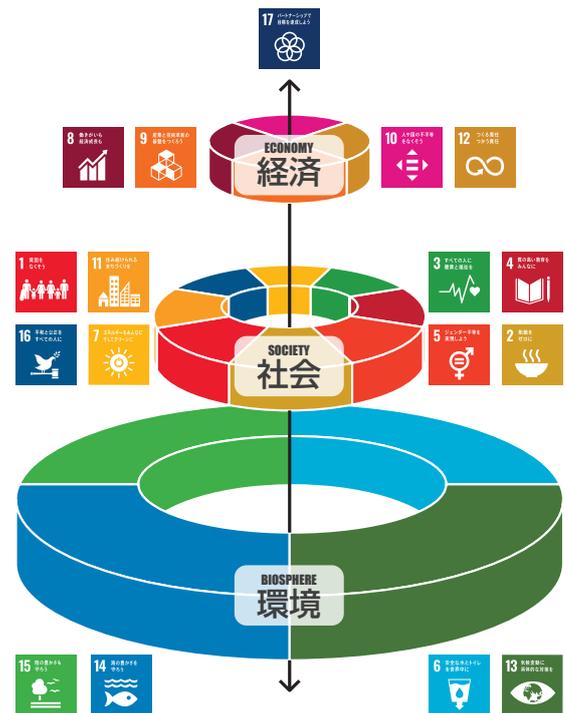
SDGsの考え方を理解してみよう!

下の図の「SDGsウェディングケーキモデル」は、地球環境の基盤の上に、私たち人類の社会があり、そして経済が成り立つことを表しています。

そして、これらのゴールを実現するために、ゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」が設定され、全世界の人々が一丸となって、持続可能な社会を作り上げることの大切さを示しています。

SDGsウェディングケーキモデル

パートナーシップ



▲出典 Stockholm Resilience Centre

POINT

17個のゴールを達成するためにも、環境・社会・経済それぞれの層においてゴールを理解して、できることから行動することが大切です。

「自分が良ければ」とか、「今が良ければ」と考えて行動すると、うまくいかないことってたくさんあるよね。だから、みんなのことや将来のことを考えていく必要があるんだ。SDGsも同じことなんだよ。

そうなんだ。でも、具体的には何をすればいいの？

まずは、SDGsについて、知ることが大切だよ。それから、身近な問題や、自分でもできることを考えて、実践してみよう。

うん。どんなことができるかな……。

ミヤリーが取り組んでいる「もったいない運動」も、SDGsの達成につながる行動だよ。6・7ページでは、SDGsと「もったいない運動」のつながりを紹介するよ。

うん、大好きだよ！

例えば、前の人たちが、自分たちの分だけ給食をいっぱい取っちゃったら、後の人の分はなくなっちゃうよね(左上の図)。自分たちばかりなんて、そんなんのずるいよ。

「自分が良ければ」とか、「今が良ければ」と考えて行動すると、うまくいかないことってたくさんあるよね。だから、みんなのことや将来のことを考えていく必要があるんだ。SDGsも同じことなんだよ。

そうだね。ところで、ミヤリーは給食好き？



できるだけ簡易包装の
ものを選んで買おう。
紙の使用を減らすことは
森林を守ること
につながるよ。



COOLBIZ
クールビズ

クールビズやウオームビズ
に取り組もう。
気候に合わせて服装の工
夫などを行うことで、冷暖房
の使用を抑えるこ
とができるよ。

WARMBIZ



エス・ディ・ジーズ

SDGs?

今からできること

ルにつながる取り組みがたくさんあります。
「たいない運動」もその一つで、皆さんもすでに
しょうか。
に暮らしていくため、SDGsにつながる取り組
まませんか。

地元のおいしい食材
食べないなんて
もったいない!

食べ残しをしないように
しよう。
食べられずに捨ててしま
うものは生ごみになってしま
うよ。

経済

買い物は地元でし
よう。
地産地消は地域
の支援につながる
よ。

マイバッグやマイ箸を使
おう。
ごみになるものが減れば
それだけで環境
にも優しいよ。

ながっているんだよ。
他に「残しま10!運動」や、地
元で採れた農産物を地元で消費す
る「地産地消」も、SDGsにつ

るんだ。

炭素の排出を減らすことにつな

うから、マイ箸を使えば、二酸化

うん。割り箸は使い終わっ

たら、焼却ごみになっちゃ

使うこともSDGs?

つながっていったんだね。マイ箸を

使うこともSDGs?

そうなんだ。「もったいな

い運動」って、SDGsに

つながっていったんだね。マイ箸を

使うこともSDGs?

3R(※)の取り組みも、使用する

資源を減らすことにつながる

るんだよ。

「もったいな

い運動」って、SDGsに

つながっていったんだね。マイ箸を

使うこともSDGs?

3R(※)の取り組みも、使用する

資源を減らすことにつながる

るんだよ。

「もったいな

い運動」って、SDGsに

つながっていったんだね。マイ箸を

使うこともSDGs?

3R(※)の取り組みも、使用する

資源を減らすことにつながる

るんだよ。

※3R リデュース・リユース・リサイクルの略



使い終わった食用油はスーパーなどの回収ボックスに出そう。

排水溝に流してしまうと水が汚れてしまうよ。



ごみの分別も環境負荷を軽減するよ。少しの工夫が未来につながるんだね！

環境



プラスになることばかり。取り組まなきゃもったいないね！



通勤は徒歩や自転車を利用しよう。

適度な運動は健康にもつながるよ。



性別で仕事を決め付けるのはやめよう。みんなで協力し合える環境をつくることで、みんなが働きやすくなるよ。



社会



おうちの電気をLED照明に買い換えよう。

省エネになるだけでなく、電気料金も減らせるよ。



どんなことが 私たちが

私たちの生活の中には、SDGsのゴール
本市が取り組みを推進している「もっ
実践していることもあるのではないで
私たちも、次の世代の人たちも幸せ
みを知り、今からできることを始めてみ



宇都宮市もったいない運動

平成17年から本市独自の「もったいない運動」に取り組んでいます。

「もったいない運動」ではSDGsのゴールにつながるさまざまな取り組みを行っています。

▼もったいない残しま10!運動

▼マイMy運動

▼もったいないAWARD など

詳しくは、もったいない運動市民会議 ▲もったいない運動市民会議ホームページURL1をご覧ください。



▲もったいない運動市民会議ホームページ

8・9ページで紹介するね。



身近な生活の中でSDGsに取り組んでいる人を、

SDGsってすごいね。もっとできることはないかな？



ちょっとしたことでも、みんなが幸せになれるなんて、SDGsってすごいね。もっとできることはないかな？

減らすことにもつながるんだよ。

ちよつとしたことで、みんなが幸せになれるなんて、SDGsってすごいね。もっとできることはないかな？



うん。地産地消は、地元企業や農家を応援すること

ず食べることもSDGsなんだ！



そうなんだ。宇都宮の野菜とか、おいしいものを残さず食べることもSDGsなんだ！

一人ひとりのSDGs

— 未来のために 今できること —

SDGsにつながる行動を紹介してきましたが、皆さんが
取り組めそうなものはありましたか？

このページでは、実際にSDGsにつながる取り組みをし
ている市民の皆さんを紹介します。

Case 2 要らなくなったものを再利用



手塚 和子 さん

買い物に出掛ける時は、常にマイバッグを持ち
歩き、購入する商品は、なるべく過剰包装でないも
のを選ぶようにしています。

どうしても出てしまうごみは、どうしたらリメイ
クをできるか考え、包装紙でブックカバーを作った
り、着なくなった洋服を生地にして巾着を作成した
りしています。手作りのものは愛着が湧いて、長く
大切に使えますよ。

Case 1 自転車で 人にも環境にも優しい生活を



宮 サイクルステーション 泉 匠 さん

学生時代から自転車を愛用し、今もロードバイク
で通勤しています。

宇都宮市は、自転車専用通行帯などの自転車に
安全に乗れる環境が整備されているので、走りや
すいですし、自転車は環境に優しく、健康的な乗り
物です。宮サイクルステーションでは、いろいろな
自転車が借りられますので、皆さんも、もっと自転
車を利用してみませんか。



☎ 1022566

宇都宮市SDGs人づくり プラットフォーム

令和元年9月に、「SDGs未来都市」に選定された宇
都宮市。皆さんにSDGsを知ってもらうため、「市もた
いない運動市民会議」と市が運営本部となって、「宇都
宮市SDGs人づくりプラットフォーム」を立ち上げまし
た。

積極的にSDGsに取り組む企業やNPO、教育機関な
どが会員として登録し、連携・協力しながら、勉強会の
開催やイベントでの普及活動などを実施しています。

会員を募集しています

「宇都宮市SDGs人づくりプラットフォーム」では、引き
続き、勉強会の実施やイベントなどにおける普及啓発な
どに継続して取り組んでいただける企業・団体などを募
集しています。

申込方法など、詳しくは、市ホームページ
をご覧ください。宇都宮市SDGs人づくり
プラットフォーム運営本部事務局(環境政
策課内) ☎ (632) 2409へ。



▲市ホームページ

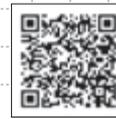
SDGsをもっと知るための方法も ID 1025504

出前講座を行っています

- ▼日時 平日、午前9時～午後5時の1時間程度。
- ▼会場 主催者でご用意ください(市内のみ)。
- ▼内容 SDGsとは何か、持続可能な社会の実現に向けた具体的な行動、市内企業などの取り組み事例などの説明・紹介。
- ▼対象 市内在住か通勤通学する、小学5年生以上で、10人以上の団体またはグループ。
- ▼その他 詳しくは、市ホームページをご覧ください。



▲SDGs出前講座



▲市ホームページ



Case 4

企業でもSDGsの取り組みが進んでいます / 二酸化炭素の削減量が見える化



Case 3

地域で子どもたちを見守る環境を



エコドライブやペーパーレス、グリーン購入など、二酸化炭素の排出量削減に向けた取り組みを推進しています。

削減量を杉の木1本分の吸収量に例え、見える化することで、取り組みの成果が明確になり、社員一人ひとりの意識の向上にもつながっています。

今後は、SDGsの取り組みを多くの人に知ってもらうため、情報発信に力を入れていきたいですね。

子どもたちやお父さんお母さんの悩み相談を通して、子どもたちの居場所づくりを進めています。地域の人と交流があった際には、積極的にコミュニケーションを取るようになっています。

自分の取り組みは、SDGsの「誰一人取り残さない」につながるところがあると思います。地域ぐるみで子どもたちを見守ることで、安心して子育てができる街になっていくといいですね。

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



ID 1025557

SDGs につながる取り組みが現在進行中！ / 再生可能エネルギーの地産地消

本市では、温室効果ガスの削減を図るため、地域新電力会社の設立に取り組んでいます。

クリーンパーク茂原の廃棄物発電で発生させた電力を市内で有効に活用することで、本市の二酸化炭素(CO₂)排出量の削減に貢献します。

また、本市の地域新電力は単なる「エネルギー会社」ではなく、低炭素化などの課題解決をする「まちづくり会社」への発展を目指しています。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

地域新電力会社のイメージ



私たちが考えるSDGs

市内ではさまざまなSDGsの取り組みが行われていますが、まだまだ浸透していない現状があります。

今回は、「みやメシ応援隊」の活動を通じて交流のあるお2人に、SDGsについてお話を伺いました。

2 飢餓をゼロに



宇都宮大学3年生
笹原 尚人さん

昨年4月から、「みやメシ応援隊」の代表として、Instagramの投稿を続けている。令和2年度のもったいないAWARDでは、この取り組みが評価され、会長賞を受賞。

らあめん厨房どる屋 代表
落合 泰知さん

鮎などの地元の食材を大切に、ラーメン作りを行っている他、食器にも地元の資源を活用するなどの工夫をしている。

8 働きがいも経済成長も



12 つくる責任 つかう責任



—まずは、笹原さんの取り組みを教えてください。

笹原 私は、ホームページやInstagramで市内の飲食店を紹介する「みやメシ応援隊」という活動をしています。

きっかけは、昨年4月、国から発出された「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言」でした。外出自粛が要請される中、通い続けたお店など、私にとって大切な場所が、コロナ禍で無くなってしまうたら残念でなりません。そこで、デリバリーやテイクアウトなど、さまざまな工夫をして、この危機を乗り越えようという思いでこの活動を始めました。

—SDGsのゴールでいうと、ゴール2「飢餓をゼロに」にもつながる取り組みですね。

笹原 はい。今、飲食店などとしても厳しい時期です。来客が減少すれば、準備していた食材が無駄になってしまいます。

また、企業努力で新しく始めたテイクアウトも、皆さんに知ってもらえなければ、食材を廃棄しなくてはなりません。

2月からは、官民連携での事業「宇都宮テイクアウトまとめ隊!!」

と提携しています。私たちの情報発信が、フードロスの減少につながるよう、これからもさまざまな飲食店の取り組みを紹介していきたいと思っています。

—落合さんのお店では、地元の素材を使った商品を多く作られていると伺いました。

落合 はい。ラーメンは世界で認められた立派な和食のジャンルの一つです。私は、他の人が作らないものを作りたいと思い、全て栃木県産の素材でラーメンを作ろうと地産地消に取り組んできました。

例えば、県内では、天然の鮎やモクズガニ、とちぎ和牛、ヤシオマスなどが有名です。中でも、鮎を使ったラーメンは、頭からしっぽまで素材を余すことなく使用しています。



▲みやメシ応援隊 Instagram





「食材を無駄にしないというのは、**ゴール12「つくる責任つかう責任」に当てはまる取り組みですね。**」
落合 正直なところ、SDGsのゴールを意識したことはありませんでした。当たり前に取り組んでいることがSDGsにつながっているんだなと考えると、改めて普段の身近な行動が未来のためになつていくんだなと感じます。
―特に心掛けていることはありますか？
落合 やはり、地元の素材を大切にすることを心掛けています。料理は味覚だけで味わうものではなく、視覚や触覚なども大切だと考えています。そのため、大谷石のプレートや箸置き、地元の竹を使った丼ぶりや箸など、地元の素材を生かした食器類を取り入れるよう

にしています。いずれは、全ての丼ぶりを県産木材の器にしたいと考えています。

―ゴール8「働きがいも経済成長も」に当てはまりますね。落合さんは、自然とさまざまなSDGsの取り組みを実行していたんですね。笹原さんが情報発信で工夫された点はありませんか？

笹原 はい。私はただグルメ情報を発信するにとどまらず、お店の「熱意」や「創業秘話」など、より深いお店の魅力を伝えられるよう心掛けています。取り組みも徐々に認知され、インスタグラムのフォロワー数が7000を超えるなど、少しずつ注目され、うれしく思っています。

落合 笹原さんは、市内の飲食店を応援しようとしても熱心なんです。お店にも何度も来てくれて、お店のこと、料理のことをたくさん話しました。やる気のある若い人と話するのは楽しいです。

―まだまだSDGsは、皆さんに浸透してない現状があります。

落合 私にとって、「地産地消」は当たり前のごとで、特別なことをしているつもりはありません。ただ、旬で新鮮な食材でも、一つの商品として調和させるためには調理の技術が必要です。私は、

そのための努力は惜しみませんし、これからもずっと続けていきたいと思っています。SDGsも小さな当たり前を繰り返し続けていくことが大切なんですよ。

今年度から、レストランなどの紹介で有名な「ミシュランガイド」でも、美味しいだけではなく、持続可能な取り組みをする飲食店などを、「グリーンスター」として紹介するようになりました。今後、飲食店でも、SDGsの目標達成に向けた取り組みは加速していくと感じています。

笹原 私が取材したお店でも、フードロスの削減のために時間限定の無人販売を行うお店や、環境に配慮した生産者への支援に取り組んでいるお店が多くありました。今後、「みやメシ応援隊」でも、「SDGsの取り組みを推進しているお店」を積極的に発信していくのも良いなと思いました。

―今後の展望を聞かせてください。

落合 地元の食材や素材にこだわってきましたが、最初は誰にも理解されませんでした。しかし継続し、結果を出すことで世間は納得します。料理の世界でも、SDGsへの流れがあり、若い人たちは、すでに意識を持っている

と思います。私自身も、できることを続けていきたいと思っています。

笹原 落合さんのおっしゃる通りに、SDGsへの取り組みは、一過性の行動ではなく、小さなことでも継続していかなくてはいいなと思います。それは、全てのことに通じることですよ。

私たちは今後も、皆さんに情熱が伝わるような活動を続けていきたいです。そして活動を通じて、皆さんが市内の魅力を再認識し、もっと宇都宮を好きになり、住み続けてもらえるような、宇都宮市が持続可能なまちになるきっかけを作っていければと思います。

読者の声をお聞かせください

広報うつのみや+は、年に数回編集します。55ページのはがきで、テーマに対するご意見をお寄せください。

広報うつのみや+

未来のために今からできるSDGs

についての問い合わせ先

環境部環境政策課

☎(632)2409、FAX(632)3316

✉u0715@city.utsunomiya.tochigi.jp

1026320

